

HITACHI

フィンガータッチユニット

形名 FT-01


取扱説明書

このたびは、日立液晶プロジェクター専用フィンガータッチユニットをお求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、本書と液晶プロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みいただき、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

お知らせ

- 本書の内容に関しては、製品の仕様を含め、予告なしに変更することがあります。
- 誤ったご使用や通常の範囲を超える取り扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんのでご了承ください。

もくじ



	
表示について	2
概要	2
WEEE について	6
同梱品の確認	7
各部の名称と働き	8
設置	9
設置の注意点	9
本機の据付方法	11
フィンガータッチユニット調整手順	16
基本的なフィンガータッチ操作	22
点検とお手入れ	22
故障かなと思ったら	23
仕様	27

お知らせ

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様の製品とは若干の相違がある場合があります。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書は以下のような表示をしています。よくお読みになり、ご理解のうえ、製品をご使用ください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり物的損傷を発生する可能性があります



「注意」を示します。

この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。



「禁止」を示します。

この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「強制」を示します。






この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。

概要






- ・本品は、弊社液晶プロジェクター専用のオプション製品です。
- ・本品をスクリーンに設置すると、指をスクリーンにタッチする動作により、コンピュータの操作や描画を行うことができます。

本品の対象機種については、弊社ホームページにて確認ください。





警告

	<p>■ 本品はクラス1レーザー機器です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーザー光は眼に当たると視覚障害の原因となります。 ・射出口をのぞかないでください。 ・レーザー光を人に向けないようにしてください。 ・フィンガータッチユニットはスクリーンに正しく固定してご使用ください。
	<p>■ 異常が発生したら、すぐにUSBケーブルを抜く そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 次のような場合はすぐに使用を中止し、フィンガータッチユニットまたはコンピュータからUSBケーブルを抜いて販売店にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。 ・内部に異物や液体（金属や水など）が入った。 ・落とした、強い衝撃をあたえた。 ・本機や接続しているケーブル類に損傷がある。 <p>お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。</p>
	<p>■ 子どもやペットに注意する 誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。また、小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、あるいは保管してください。 万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>■ 異物や液体を入れない 火災や感電の原因となります。また可燃性の気体や液体が内部に入ると、引火して爆発を引き起こし、火災やけがの原因となります。 ぬれたものや小さなもの、気体や液体が入っているものを本機の近くに置かないでください。本機の周辺でスプレー（エアゾール製品）を使用しないでください。 万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、USBケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。</p>
	<p>■ ぬらさない 本機や電源ケーブルなどがぬれると火災や感電の原因となります。 水を掛けたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴の掛かる場所に置いたりしないでください。</p>


警告

	<p>■ 不安定な設置をしない、衝撃をあたえない ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となります。また、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、USBケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。</p>
	<p>油を使用する場所に置かない 油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。また、プラスチックの劣化により、高所設置からの落下など、けがの原因となります。 ・調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。</p>
	<p>■ 分解しない、改造しない ・内部にはレーザー発生装置があり、眼に当たると視覚障害の原因となります。 ・内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ ケーブルは所定のものを使用する 仕様の合わないケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。 本機に同梱されているものは、傷や損傷が無いことをご確認のうえ、必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外のケーブルは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。</p>
	<p>■ お手入れするときはケーブルを抜く ケーブルを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。お手入れするときは、電源を切り、ケーブルを抜いてください。</p>


注意

	<p>■ 高温になるところに置かない 高温になるところに置くと、内部温度が上がり過ぎ、火災や故障の原因となることがあります。また、熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 熱源の近くや直射日光、温風が当たるところには置かないでください。 • 本機や付属品を電子レンジに入れないでください。 • 布などを被せたりしないでください。
	<p>■ 湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない 内部にほこりなどがたまと、火災や感電の原因となったり、故障や動作不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や動作不良の原因となることがあります。</p>
	<p>ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。</p>

WEEE について

このマークは WEEE (Waste Electrical and Electronic Equipment Directive 2002/96/EC) に基づくものです。このマークは、このマークが表示されている製品を、一般のゴミとして廃棄してはならず、廃棄を行う国や地域の規則に従って適切な回収システムを使用しなければならないことを示します。



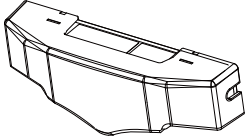
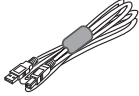
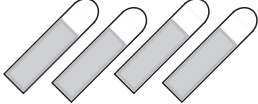


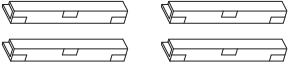



お知らせ

- ・無線送信機、テレビ、複写機、冷暖房機器などの電磁波や、無線周波数が発生するおそれのある機器の近くには設置しないでください。
- ・ほこりの多い場所や、温度、湿度が極端に高い場所や低い場所は避けてください。
- ・フィンガータッチ機能は赤外線を利用して位置検出を行っていますので、スクリーン表面に直射日光のあたる場所でのご利用は避けてください。また、フィンガータッチ機能を使用している近くで赤外線波長が出る機器（白熱電灯、ハロゲンランプ、プラズマディスプレイ、モーションセンサー、自動照明センサー等）が使用されている環境では、誤動作する可能性がありますのでご了承ください。
- ・インバーター蛍光灯の近くに設置、あるいはスクリーンにインバーター蛍光灯の光が当たっていると、フィンガータッチ機能がなめらかに動かない場合があります。
- ・光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。フィンガータッチセンサー（カメラ）やスクリーンに強い光が当たると、フィンガータッチ機能が正常に動かないことがあります。
- ・デジタルズームを最も大きくし（100%）、キーストンとコーナーフィット機能を使用していない状態での画面サイズが 60-100 インチとなる位置に設置して使用してください。キーストンまたはコーナーフィット機能を使用した場合には、補正した後の表示している画面サイズが 60-100 インチの場合でも、フィンガータッチの位置が正しく画面に反映されない、またはフィンガータッチの操作に反応しない場合があります。

同梱品の確認

箱の中に下表のものが同梱されているかご確認ください。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

次ページ以降の図では、品名を記号で表しています。

記号	品名	数量	外観
A	フィンガー タッチ ユニット	1	
B	USBケーブル	1	
C	両面テープ	4	
D	マグネット シート	3	
E	固定ねじ	2	
F	調整バー	4	
G	反射防止バー ※	12	
H	IR FILTER ※※	1	
I	取扱説明書 (本書)	1	

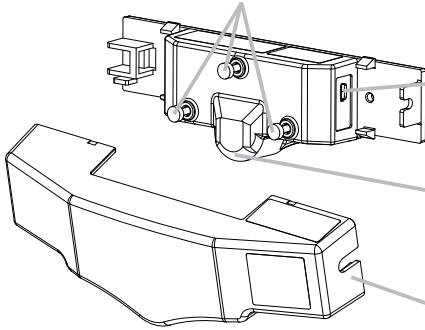
※通常利用では使用しません。詳細は p.25 を参照してください。

※※通常利用では使用しません。

各部の名称と働き

調整ノブ

赤外線レーザー光の高さや角度を調整するためのノブです。



USB(B-type) ミニコネクタ

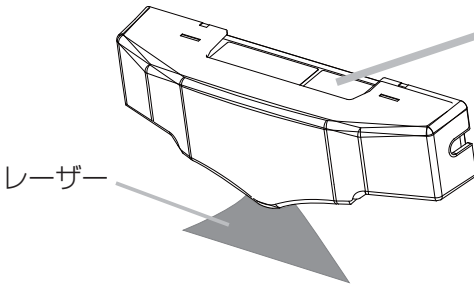
プロジェクターのオプション端子と接続します。

レーザー出射口

赤外線レーザー光を出力する窓です。

カバー

フィンガータッチユニットの設置・調整の後に取り付ける保護カバーです。



レーザー

クラス1 レーザ製品

CLASS 1 LASER PRODUCT

レーザー評価基準：

IEC60825-1: 2007

JIS C 6802: 2011

内蔵のレーザーダイオードの仕様

最大出力：220mW

波長：842nm



警告



■ 本品はクラス1レーザー機器です。

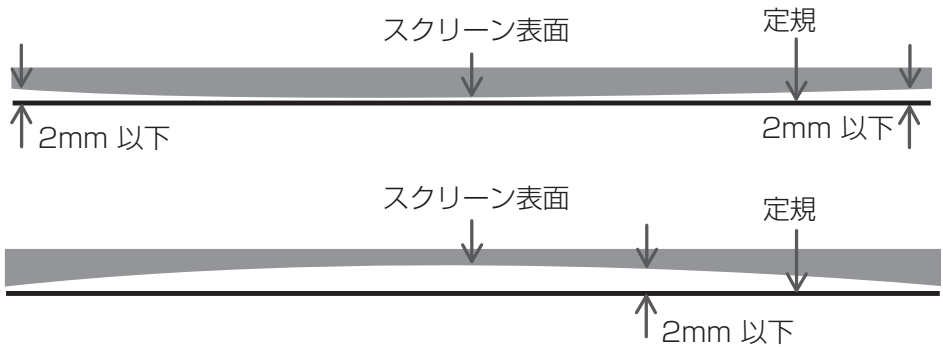
- レーザー光は眼に当たると視覚障害の原因となります。
- 射出口をのぞかないでください。
- レーザー光を人に向けないようにしてください。

設置

設置の注意点

- 本機は弊社プロジェクター専用のオプション製品です。他のプロジェクターには使用できません。
- 本機を使用する場合は、天吊金具、または、机上投写金具にプロジェクターを設置してください。据置設置では使用できません。
- 反りや歪みが 2mm 以内の平坦なスクリーンに本品を設置して下さい。

スクリーンの反りや歪みによって、フィンガータッチユニットが発生する赤外線レーザー光が遮断され、フィンガータッチ機能が動作しない可能性があります。また、フィンガータッチユニットが発生する赤外線レーザー光とスクリーン表面との間隔が離れ過ぎ、意図通りの操作ができなくなる可能性があります。

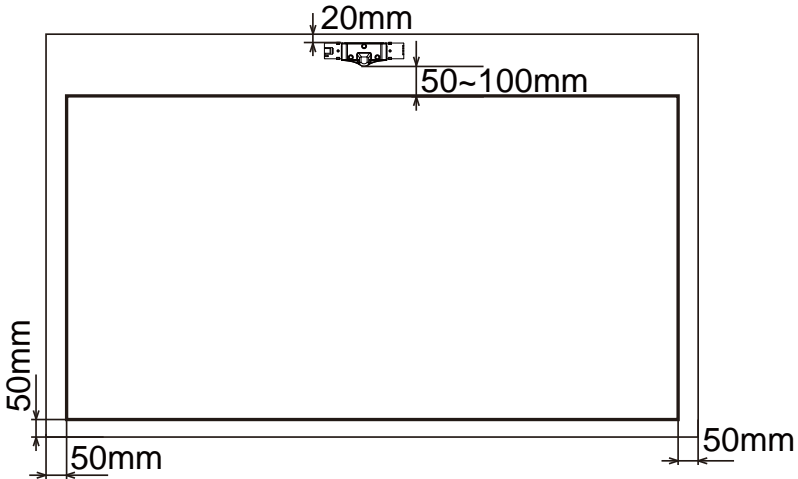


FT-01

プロジェクター表示画面の左右中央にフィンガータッチユニットを設置してください。

フィンガータッチユニットのレーザー出射口とプロジェクター表示画面との間隔は 50 ~ 100mm としてください。

スクリーンの左右端および下端では、スクリーン枠の反射による誤動作を防ぐため、プロジェクターの表示画面端とスクリーン端との距離を 50mm 以上離してください。



注意



本機を壁面に設置しないでください。
壁面の塗装および壁紙が剥がれるおそれがあります。



フィンガータッチユニットの設置が両面テープまたはねじで固定の場合は、カバー着脱のために 20mm 以上のスペースをあけてください。

本機の据付方法



警告

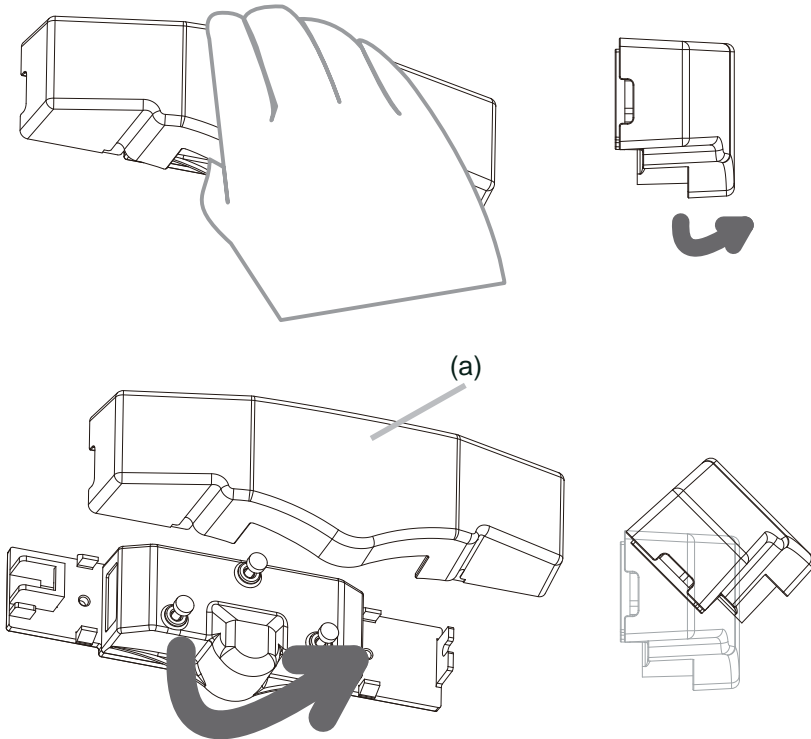


- ・お客様による設置作業は絶対に行わないでください。設置作業は必ず販売店またはサービス会社にご依頼ください。
- ・設置不備、取り扱い不備による事故、損傷については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。

① カバーの取外し

フィンガータッチユニット(A) から、カバー(a) を外してください。

指をかけ、下に引っ張りながらカバーを外してください。

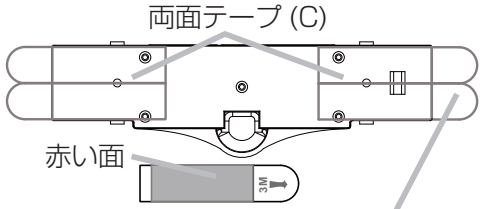


② フィンガータッチユニットの据付

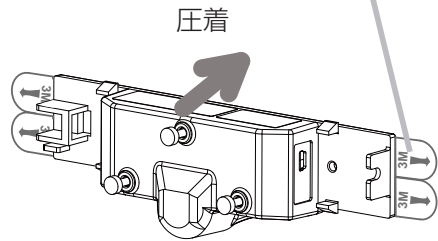
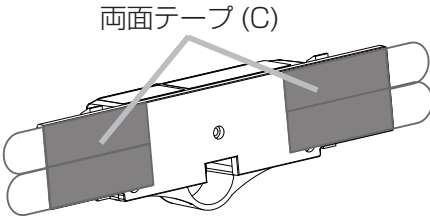
フィンガータッチユニット(A)は、以下の3方法のいずれかにて固定してください。

(1) 両面テープによる据付

- 両面テープ(C)のはくり紙(赤い面)をはがし、下図のようにフィンガータッチユニットに4枚貼ってください。両面テープを4枚使用しないと、性能上に支障がでる可能性があります。
- はくり紙(黒い面)をはがし、据付場所に圧着してください。



3Mが見えるように出してください



黒い面

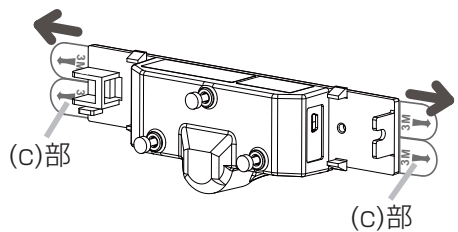
"かべ面", "WALL side", "Côté MUR", "lado de la PARED" 表示あり

! 注意

○ 取付けられるところ	× 取付けられないところ
<ul style="list-style-type: none"> 凸凹のないなめらかな面 	<ul style="list-style-type: none"> 凸凹面、ざらざら面、曲面 壁紙(ビニール製、布製、紙製)、土壁、砂壁

お知らせ

・撤去等でフィンガータッチユニットを取り外す場合は、(c)部を引っばると両面テープが外れます。



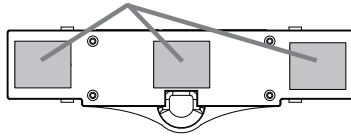
FT-01

② フィンガータッチユニットの据付 (つづき)

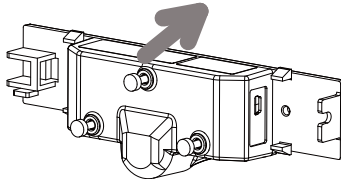
(2) マグネットシートによる固定

- ・マグネットシート (D) のはくり紙をはがし、下図のようにフィンガータッチユニットに3枚貼ってください。

マグネットシート (D)



- ・固定場所 (金属) に、固定してください。



⚠ 注意

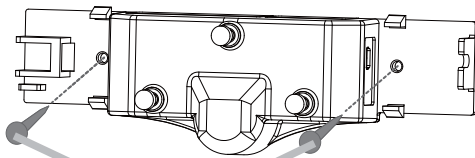


マグネット固定は平坦な金属面とし、凸凹のある金属面には固定しないでください。

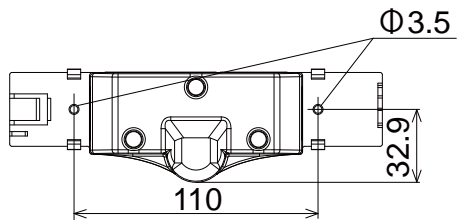
(3) ねじによる据付

- ・固定ねじ (E) 2本にて固定してください。

締め付けトルク : 0.98N・m (10kgf・cm)



固定ねじ (E)



⚠ 注意



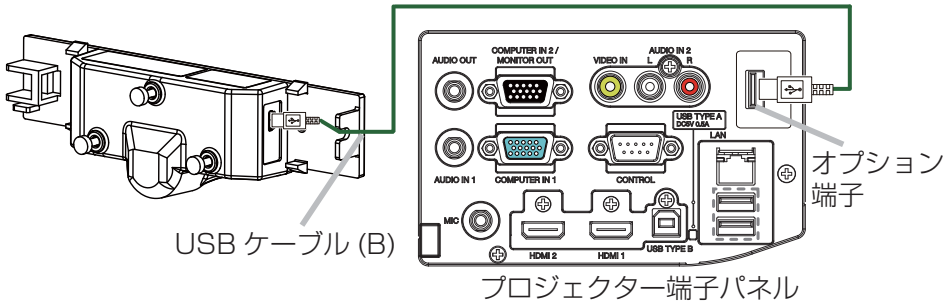
2m以上の高さに据付ける場合は、必ずねじを使用してください。

お知らせ

・同梱のネジは薄板、木材用です。

③ USB ケーブル (B) の接続

(1) プロジェクターのオプション端子のカバーをプラスドライバーを使用して外します。フィンガータッチユニット (A) とプロジェクターのオプション端子を USB ケーブル (B) で接続してください。



注意

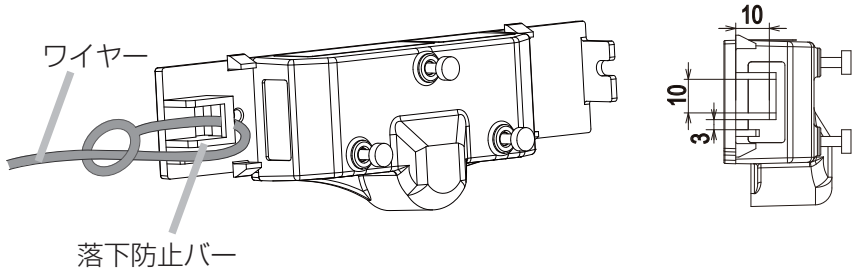
USBケーブルの接続はプロジェクターが電源に接続されていないことを確認しておこなってください。必ずプロジェクターのオプション端子に接続してください。プロジェクターが電源に接続された状態でUSBケーブルを**USB TYPE A**端子に接続すると、いきなりレーザー照射が始まるので注意してください。

■ オプション端子のカバーは、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

- (2) プロジェクターの「取扱説明書 - 詳細版 -」応用編 の使用時の接続方法を参照し、コンピュータとプロジェクターとを接続してください。
- (3) プロジェクターの「取扱説明書 - 詳細版 -」応用編 のドライバインストールを参照し、ドライバをインストールしてください。

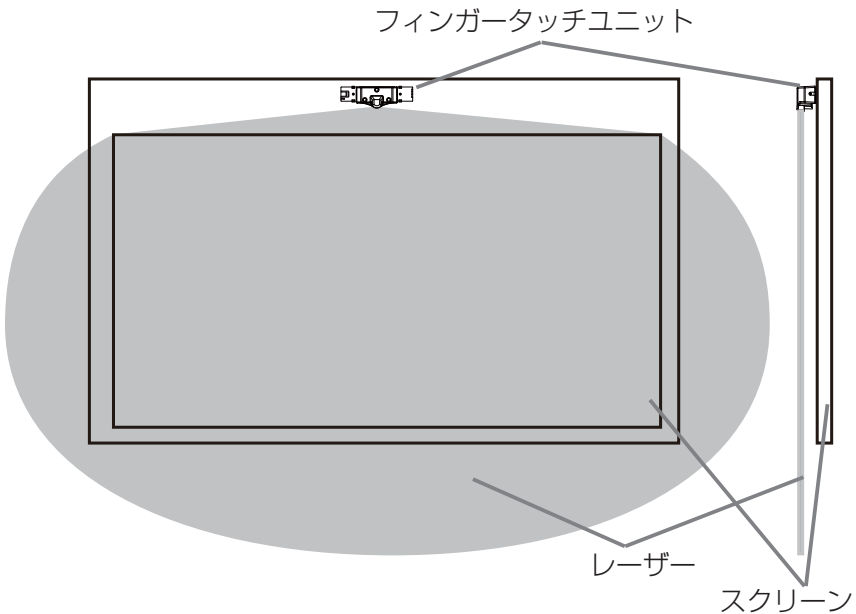
落下防止バーを使う

本機は、落下防止用に市販のワイヤーなどが使用できる落下防止バーを備えています。



設置全体イメージ

以下にフィンガータッチユニット設置のイメージを示します。



⚠️ 注意

レーザーはフィンガータッチユニットから放射状に出力されます。図に示すエリア内からレーザー出射口を覗かないようにしてください。レーザー光は眼に当たると視覚障害の原因となります。

フィンガータッチユニット調整手順

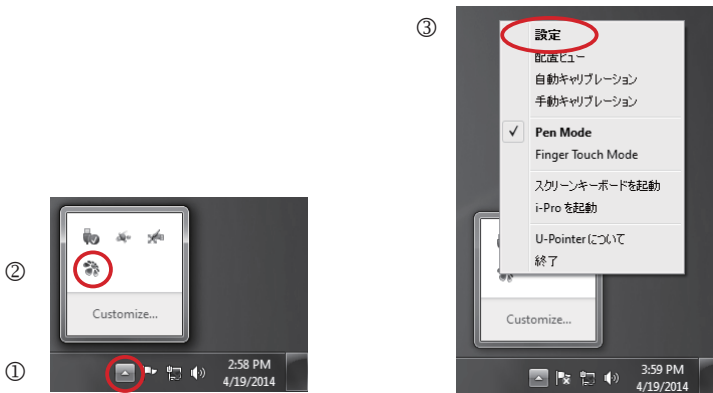
以下、Windows コンピュータの調整手順を示します。Mac コンピュータをご使用の際は、DVD ドライブ内の U-Pointer のマニュアルを参照し同様の操作を行ってください。プロジェクターの USB TYPE B 端子とコンピュータの USB TYPE A 端子を USB ケーブルで接続し、リモコンの**電子黒板**ボタンを押して PC 使用モードに切り替えると、DVD ドライブが認識されます。

- (1) プロジェクター付属リモコンの**電子黒板**ボタンを操作し、プロジェクターの IWB モードを「PC 使用モード」に設定してください。



- (2) コンピュータのタスクトレイから U-Pointer アイコンをクリックし、[設定] を選択してください。

★設定言語によって、図のメニュー表示が異なります★

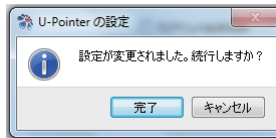


FT-01

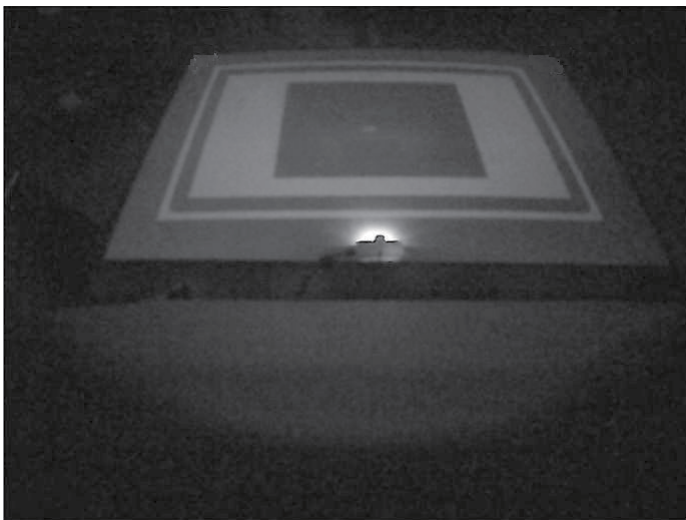
(3) U-Pointer の設定 を下記の通り設定してください。



(4) 確認画面が表示された場合は、[完了] をクリックしてください。

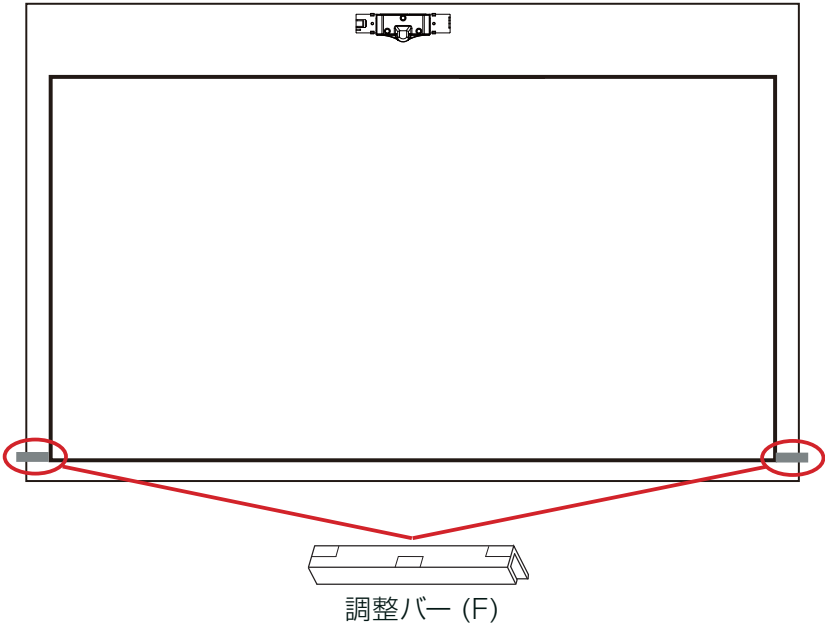


(5) [次へ] → [配置ビュー] とクリックし、配置ビュー を表示してください。

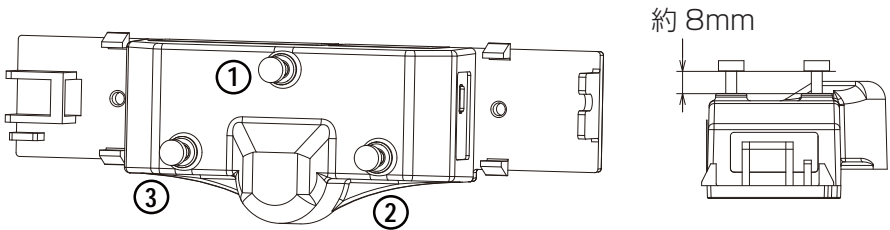


FT-01

- (6) プロジェクター表示画面の左右端に、同梱品の調整バー (F) を固定してください。調整バーの白い印刷面をフィンガータッチユニットの方向に向け、付属の両面テープを用いて固定してください。

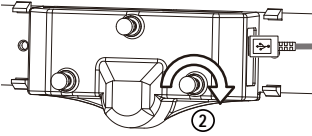


- (7) 調整ノブ①②③全てをケースから約 8mm 浮かせてください。

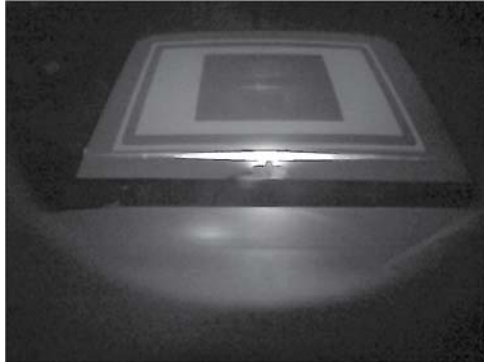
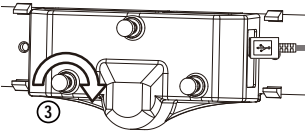


FT-01

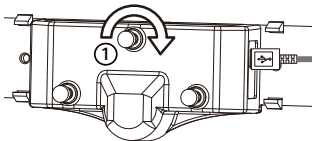
(8) 画面内に Reflection Line が表示されるまで、調整ノブ②を時計回りに回してください。



(9) 調整ノブ③を時計回りに回し、Reflection Line を水平にしてください。

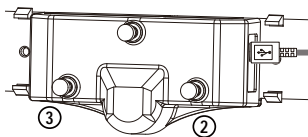


(10) 調整ノブ①を時計回りに回し、Reflection Line を上下中央付近に移動してください。

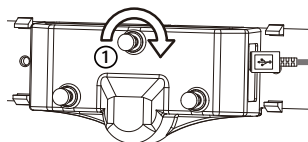


FT-01

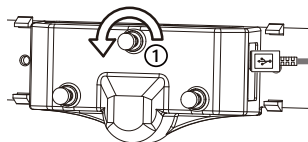
(11) もしも、Reflection Line が水平でなければ、調整ノブ②もしくは③を回して Reflection Line を水平にしてください。



(12) スクリーン右下および左下の調整バーがそれぞれ1点のみ発光するまで、調整ノブ①を時計回りに回してください。



(13) スクリーン右下および左下の調整バーがそれぞれ2点発光するまで、調整ノブ①を反時計回りに回してください。



お知らせ ・ レーザー射出口が光っていない場合は故障している可能性があります。

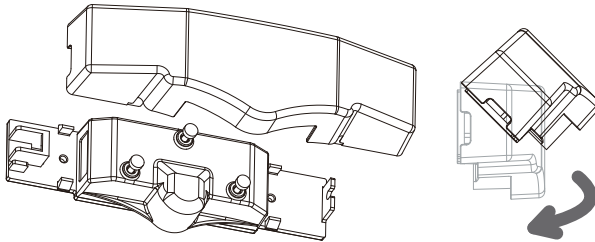
FT-01

(14) プロジェクターの表示画面に指をタッチし、指先とスクリーンとの間隔が約 5mm 以下になると、表示画面内の指先が光ることを確認してください。

お知らせ

- ・ 赤外線レーザー光とスクリーンとの間隔が広過ぎる場合は、調整ノブ①・②・③全てを時計回りに回し、再度 (8) から (14) の調整を行ってください。
- ・ 赤外線レーザー光とスクリーンとの間隔が狭過ぎる場合は、調整ノブ①・②・③全てを反時計回りに回し、再度 (8) から (14) の調整を行ってください。

(15) 調整ノブに触れないよう、静かにカバーを装着してください。



お知らせ

- ・ フィンガータッチユニットをマグネットシートにて固定している場合、カバーの取り外し時にフィンガータッチユニットと一緒に外れることがあります。

(16) 調整バーをスクリーンから取り外してください。

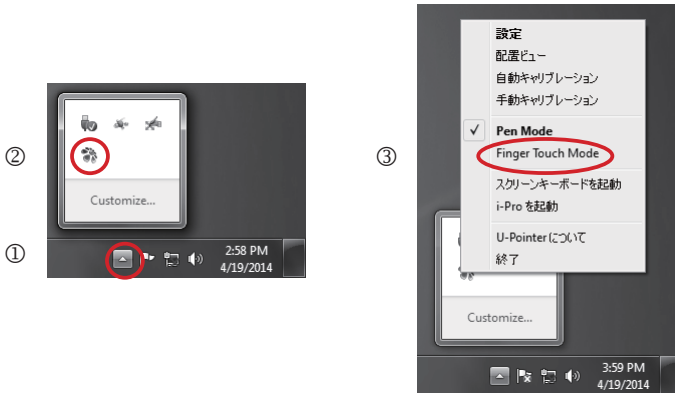
(17) [OK] をクリックし、配置ビュー を終了してください。

(18) [次へ] → [自動キャリブレーション] とクリックし、自動キャリブレーションを実行してください。自動キャリブレーションが失敗した場合は、手動キャリブレーションを行ってください。

(19) [完了] をクリックし、U-Pointer の設定を終了してください。

FT-01

(20) コンピュータのタスクトレイから U-Pointer アイコンをクリックし、[Finger Touch Mode] を選択してください。



以上でフィンガータッチユニットの調整は完了です。

基本的なフィンガータッチ操作

フィンガータッチ操作により Windows コンピュータのマウス操作を行うことができます。

- 左クリック
スクリーンを指でタッチするとクリック操作となります。
- ダブルクリック
クリック操作を素早く2回行うとダブルクリックとなります。
- 右クリック
スクリーンの同じ場所を2秒間指でタッチし続けると、マウスの右クリック操作となります。
- ドラッグ
スクリーンを指でタッチしたまま、指を移動してください。

点検とお手入れ

フィンガータッチユニットのお手入れ

1. プロジェクターの電源を切り、フィンガータッチユニットの USB ケーブルを抜いて下さい。
2. 乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。

故障かなと思ったら



警告

異常が発生した場合は、すぐにケーブルを抜き販売店にご相談ください。

故障と間違えやすい現象について

修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

現象	確認内容	参考頁
フィンガー タッチ機能 が動作しない	プロジェクターとスクリーンが近づきすぎていませんか？ デジタルズームを最も大きくし(100%)、キーストンとコーナーフィット機能を使用していない状態での画面サイズが60-100 インチとなる位置に設置して使用してください。	6
	フィンガータッチの位置合わせを行いましたか？ プロジェクターのメニューからキャリブレーションを行ってください。	-
	プロジェクターとスクリーンを次のような場所で使用していませんか？ ・ 白熱電球、ハロゲンランプなど赤外線成分を強く含む光源の近く。 ・ 直射日光が当たる場所。 ・ インバータ蛍光灯の近く。 ・ 赤外線ワイヤレスマイクの近く。	6
	周囲光がスクリーンに当たっていませんか？ 照明を暗くするかカーテンを用いて、できる限りスクリーンに周囲光が当たらないようにしてください。	6
	スクリーンとセンサーを遮断していませんか？ プロジェクター上面のセンサー部とスクリーンの間を遮らないようにしてください(透明なものやメッシュ状のものもNGです)。例えば、盗難防止用のゲージ等でレンズのみが外にでる形の場合はインタラクティブ機能が正常に動作しません。	-
	カメラのレンズが汚れていませんか？ もしも、カメラのレンズが汚れていた場合は、レンズクリーニングクロスで汚れを拭き取ってください。	-
	上記以外 プロジェクターとコンピュータを接続している USB ケーブルを抜き、再度挿入してください。	-

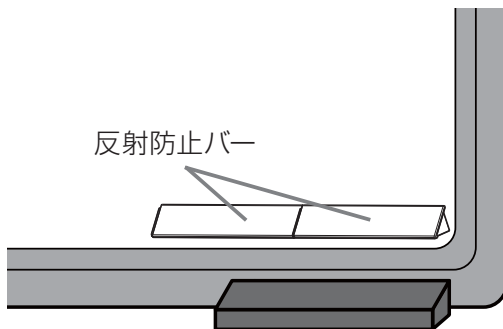
故障かなと思ったら(つづき)

現象	確認内容	参考頁
フィンガー タッチ機能 が動作しな い(つづき)	レーザー射出口が光っていない場合は故障している可能性があります。	20
指先とカー ソルが一致 しない	フィンガータッチの位置合わせを行いましたか？ プロジェクターのメニューからキャリブレーションを行ってください。	-
	プロジェクタが傾いて取り付けられていませんか？ プロジェクタを水平に正しく設置したあと、キャリブレーションを行ってください。	-
	コンピュータによっては、画面に黒い枠を付けて、実際の解像度と異なる映像を出力する機種があります。このような場合は、ドライバーソフト U-Pointer のキャリブレーションを実施してください。また、他のコンピュータを使用する場合は、再度キャリブレーションを実行してください。	-
フィンガー タッチの動 作が不安定 である、ある いは止まる	本機が使用している電源と同じ電源から消費電力の大きい他の電気製品を使用していないですか？ 同じ電源で消費電力の大きい電気製品を使用している場合は、使用する電源を別々にしてください。	-
	ドライバーソフト U-Pointer が「Pen Mode」に設定されていませんか？ フィンガータッチ機能をご使用される際は U-Pointer を「Finger Touch Mode」に設定してください。	21
	フィンガータッチユニットの調整がずれている場合があります。 再調整を行ってください。	-

故障かなと思ったら(つづき)

現象	確認内容	参考頁
フィンガータッチの動作が不安定である、あるいは止まる(つづき)	<p>スクリーン周囲の障害物にレーザーが反射して誤動作している可能性があります。</p> <p>フィンガータッチユニット調整手順(☞16)に沿って(5)まで実施し、配置ビューを表示してください。</p> <p>図のようにスクリーン周囲に発光している障害物がある場合は下記を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン周囲の障害物を取り除き、発光しなくなることを確認してください。 ・障害物が移動できない場合は反射防止バー (G) を反射物とフィンガータッチユニットの間に貼り付けて発光しなくなることを確認してください。 	16
	<p>上記以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクタの電源を一度抜いて再度挿入してください。 ・Windows® を再起動してください。 	—

反射防止バーの裏面のはくり紙をはがし据付場所に貼りつけてください。



⚠ 注意

- ・反射防止バーは取り外さないでください。テープの粘着が弱くなります。
- ・反射防止バーは取り外さないでください。貼り付け面が破損する場合があります。
- ・反射防止バー上にテープを貼ったりすると正しく機能しません。

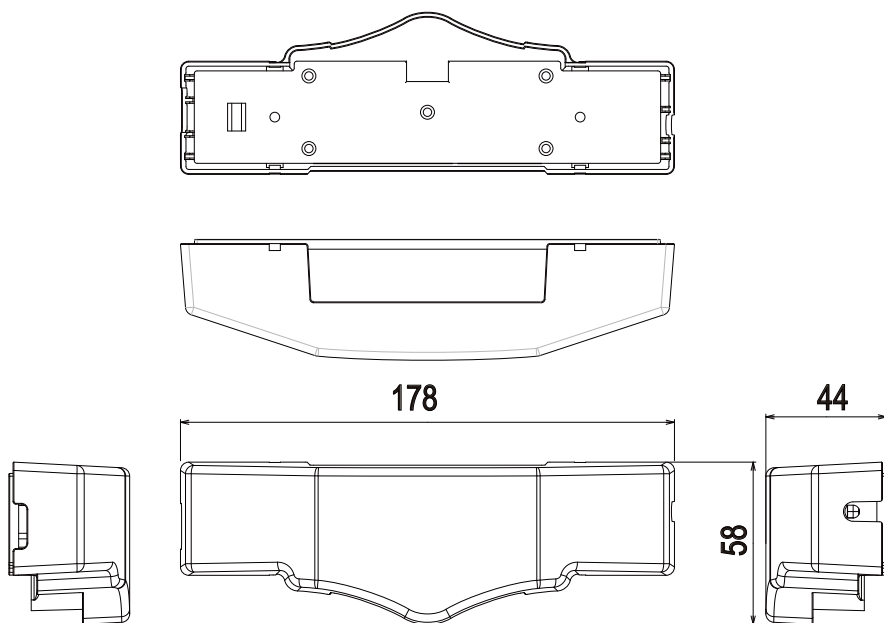
故障かなと思ったら(つづき)

現象	確認内容	参考頁
フィンガータッチの位置合わせがうまくできない	フィンガータッチユニットおよびプロジェクターは正しく設置されていますか？ それぞれの取り付け位置をご確認ください。	10
	スクリーン内にコンピュータの画面を投影していますか？ デジタルズームを最も大きくし(100%)、キーストンとコーナーフィット機能を使用していない状態での画面サイズが60-100インチとなる位置に設置して使用してください。キーストンまたはコーナーフィット機能を使用した場合には、補正した後の表示している画面サイズが60-100インチの場合でもフィンガータッチの位置が正しく画面に反映されない、またはフィンガータッチの操作に反応しない場合があります。	6
	拡大機能により部分拡大表示していませんか？ リモコンの 拡大オフ ボタンを押し、通常表示に戻してください。	-
	「アスペクト」設定が「リアル」かつコンピュータの出力信号解像度が1280 x 800より大きくありませんか？ 「アスペクト」設定を「ノーマル」にするか、コンピュータの出力信号解像度を1280 x 800以下としてください。	-
	周囲光がスクリーンに当たっていませんか？ 照明を暗くするかカーテンを用いて、できる限りスクリーンに周囲光が当たらないようにしてください。	6
	自動キャリブレーションはスクリーンに人の影が入ると失敗することがあります。 自動キャリブレーション時はスクリーンから離れてください。	-
	自動キャリブレーションが何度も失敗する場合は、手動キャリブレーションを実施してください。	-

仕様

項目	仕様
型式	FT-01
電源／定格電流	DC 5V/300mA
消費電力	1W
使用温度範囲	0～40℃（動作中）
標準外形寸法	178 (W) x 58 (H) x 44 (D) mm * 突起部含まず 下図ご参照
質量	約110g

外形図



商標について：

- Microsoft[®]、Windows[®] は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
 - Mac[®]、Macintosh[®] および Mac OS[®] は Apple Inc. の登録商標です。
- その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

